

青山学院大学文学部附置人文科学研究所主催シンポジウム

演劇を通じた文化交流

バンジャマン・ラザール氏と澤田育子氏をお迎えして

2023年11月15日(水)

青山学院大学 青山キャンパス

14:00-17:30 (13:30開場)

17号館6階 本多記念国際会議場



バンジャマン・ラザール氏

(撮影 Joseph Paris)



澤田 育子氏

プログラム

[第1部] バンジャマン・ラザール氏と澤田育子氏の演劇人としての歩みをたどる

[第2部] バンジャマン・ラザール氏によるバロック演劇の実演

【主催】
文学部附置人文科学研究所

【お問合せ】
agu-jinbun@aoyamagakuin.jp

ご挨拶

今回のシンポジウムのテーマは『演劇を通じた文化交流』です。演劇は言語や文化を超えて、人々を感動させ、共感させる力をもっています。その力を可能な限り活用して、4名の専門家が演劇を通じた文化交流の新たな可能性を探っていきます。そして、演劇の実演を通じて文化を理解し、共有していきたいと考えています。どなたでもご参加いただけます。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

青山学院大学文学部附置人文科学研究所 所長 中村 光宏

シンポジウム登壇者紹介

◆ 寺倉正太郎 (てらくら・しょうたろう)

オペラ評論家。オペラをはじめとする音楽劇の演出に関心が深く、公演プログラムや音楽雑誌に解説の執筆や、演出ノートの翻訳などを行う。

著書に『オペラの力』(青弓社、2005年)。共訳書に『ワーグナーとは何か より深く知るために』(ブライアン・マギー著、音楽之友社、2000年)

◆ バンジャマン・ラザール

演出家、俳優。2021年、フランス政府より芸術文化勲章受章。主な演出作品：

- 2004年 モリエール作、リュリ作曲『町人貴族』(アヴィニオン歌劇場)
- 2011年 マスネ作曲『サンドリヨン』(オペラ・コミック座)
- 2013年 ラブレ『パンタグリユエル』の脚色・舞台化(カンペール国立劇場)
- 2016年 デュマ・フィス作、ヴェルディ作曲『トラヴィアータ』(ブッフ・デュ・ノール)
- 2016年 メーテルランク作、ドビュッシー作曲『ペレアスとメリザンド』(マルメ歌劇場)
- 2018年 シュトックハウゼン作曲『光』より『木曜日』(オペラ・コミック座)
- 2019年 マルグリット・ド・ナヴァール『エプタメロン』脚色・舞台化(アミアン文化会館)
- 2020年 ヘンデル作曲『エジプト王トロメオ』(カールスルーエ歌劇場)
- 2022年 カンピストロン作、リュリ作曲『アシスとガラテ』(フィレンツェ歌劇場)
- 2023年 ワーグナー『さまよえるオランダ人』(ケルン歌劇場)

◆ 澤田育子 (さわだ・いくこ)

俳優・脚本家・演出家、劇団good morning No 5主宰。主な作品：

- 2019年 『どうしようもなく、衝動。』
(浅草九劇年間最優秀作品賞、浅草九劇下半期ベストパフォーマー賞受賞)
- 2020年 『ただやるだけ』(下北沢シアター711)
- 2021年 『異常以上ゴミ未満、又は名もなき君へ』(下北沢 小劇場B1)
- 2022年 『拝啓、モリエール様 モリエールへの挑戦状 “ドン・ジュアン”より』(中野スタジオあくとれ)
- 2022年 テレビドラマ『ちょい釣りダンディ』(第6話、脚本・監督)
- 2022年 『赤裸裸』(ザ・スズナリ)
- 2023年 テレビドラマ『俺の美女化が止まらない!?』(第5話、第6話、脚本・監督)
- 2023年12月14日(木)～12月24日(日)下北沢 小劇場B1にて、『失うものなどなにもない』公演予定

◆ 秋山伸子 (あきやま・のぶこ)

パリ第4大学文学博士。現在、青山学院大学文学部フランス文学科教授。

主な著書、『フランス演劇の誘惑』(岩波書店、2014年)。

翻訳『モリエール全集』(共同編集・翻訳、全10巻、臨川書店、2000-03年、2003年、日仏翻訳文学賞受賞)

